

みんなの党

ローカルアジェンダ 長崎

(地域政策課題・長崎)

1・県からの天下り根絶

- 国だけではなく、長崎県も組織的に県出資団体や関連団体に天下っている。
早期勸奨退職慣行（定年前の肩たたき）を廃止し、定年まで働ける人事制度を確立。
定年前、後を問わず一切の天下り根絶。
- ムダを徹底的に排除した人事、人件費政策の確立。

2・雇用機会の拡大

- 企業誘致策を重点的に強化し、即、雇用に繋がる施策を強力に推進！
長崎県は、技術的、人材的環境が非常に優れている。十分に活かされてないことが問題。
- 地域を支える中小企業向け支援制度。制度疲労からの脱却。
長引く不況下において、雇用を守り、地域を支え、立ち上がる企業の経営安定化や体質強化を厚く支援。
国に頼らず、地域の実情に合わせたきめ細やかな支援体制の確立。
- 制約が多い子育て家庭等のワークライフバランス（仕事と生活の調和）を推進

3・防災・危機管理体制の抜本的見直し

- 避難所まで行く道の安全性すら調査されていない現実。
- 災害に対する安全性の緊急総点検。県域にとらわれない防災体制、一体型復興の構築。

4・交通弱者の足を守る。

- 公共路線がない地区や斜面地域に、地区単位での循環交通網の確立。（コミュニティ交通網）
道はきれいに整備をされたが、その上を通るバスが赤字で廃止、減便に追い込まれている。
病院にも通えない、買い物にも行けない現実。細やかな交通網整備で、交通弱者の足を守る！

5・予防接種の公費助成拡大

- 家庭の経済力が子どもの健康を左右する状況があってはならない。
ワクチンで予防できる病気の自己負担軽減。

6・長崎県の確固たるブランド化と販売戦略

- 長崎県にはすばらしい名産品が多くある。（農林畜水産品、名産品、技術など）本物のブランディング戦略を実施し、確固たる「長崎ブランド」の確立。県外、アジア諸国向けに販売戦略を展開する。同時に、地理的、歴史的利点を活かし、国内外を問わず観光客を誘致する！

7・「しまの県」としての交通体系の整備と医療格差是正

- しまの要である「船便」の利便性向上と、運賃低減に向けての支援。
長崎県は「しまの県」である。船便の不便さと運賃の負担が重く押し掛かり生活を圧迫している。
- 「しま」との医療格差を恒久的に是正。
医師の確保、定着はもちろん、診療科目や設備等も格差なく恒久的に是正。

8・自然環境を取り戻す公共政策

- 長崎県においても、昔は当たり前だった鳥や川魚など、さまざまな生物が姿を消している。
自然を壊したのは人間。自然を取り戻すのも人間。
未来につながる自然と共存できる公共政策、公共工事を推進する！